

雇用情勢

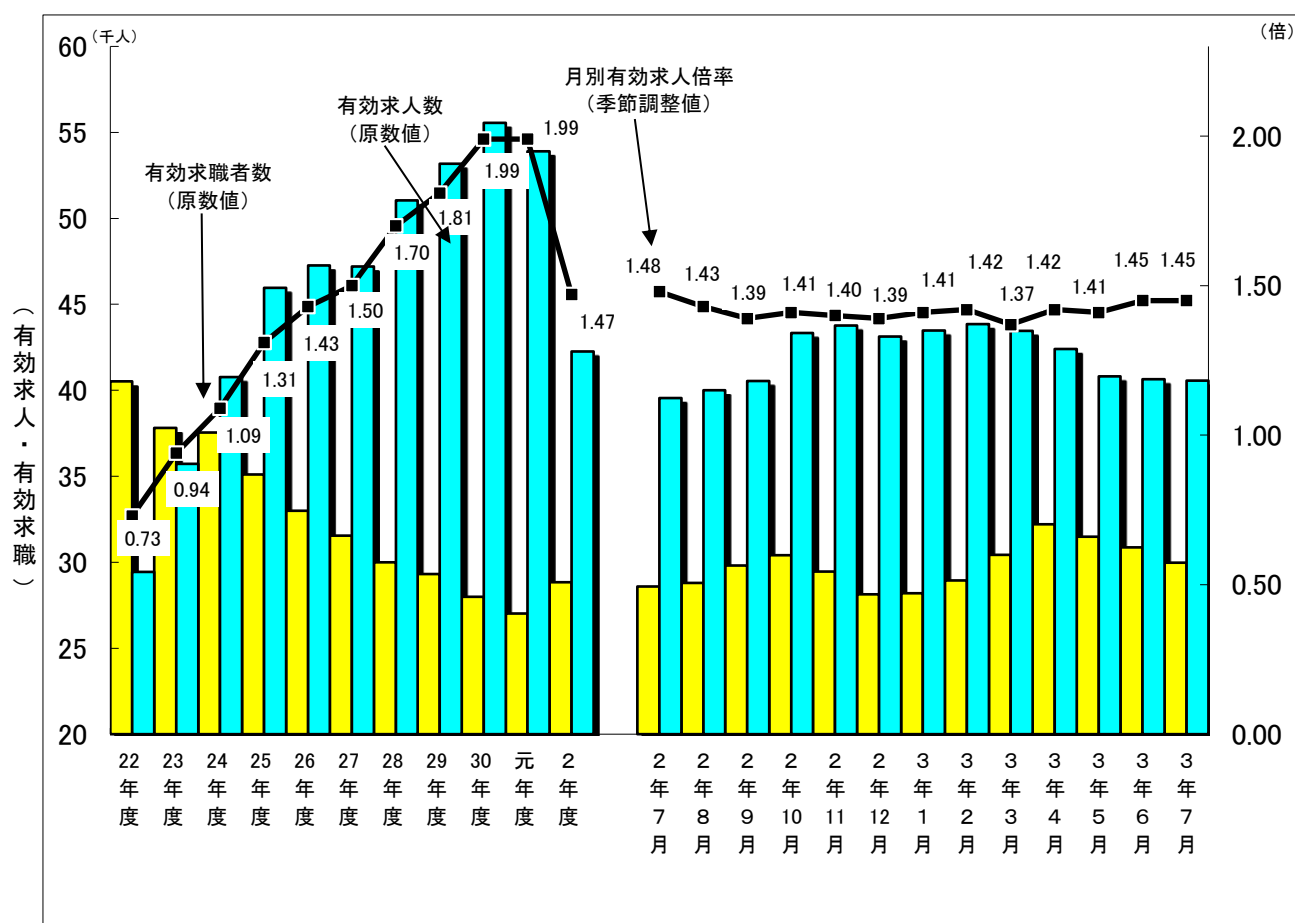
・雇用情勢のポイント — 7月の岡山県の有効求人倍率は1.45倍です。 —

令和3年7月の有効求人倍率(季節調整値)は、1.45倍となり、前月と同水準となった。
 前月と比較して、有効求人数(季節調整値)は0.9%増加し、有効求職者数(季節調整値)は1.2%増加した。

新規求人数(原数値)を産業別に前年同月と比較すると、主な産業では、建設業(6.0%減)、運輸業・郵便業(2.0%減)、宿泊業、飲食サービス業(24.5%減)で減少したものの、製造業(30.6%増)、卸売・小売業(15.6%増)、医療・福祉業(11.0%増)、サービス業(他に分類されないもの)(0.6%増)で増加したことから、全体では対前年同月比で4.4%増となり、2か月ぶりに増加した。

新規求職者数(原数値)は、対前年同月比で4.1%減となり、3か月連続で減少した。

このような状況から、「県内の雇用情勢は、求人が求職を上回って推移しているものの、求人が弱含んでおり、新型コロナウイルス感染症が雇用に与える影響に十分注意する必要がある」と判断した。



	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度
有効求職者数	40,516	37,816	37,541	35,103	32,995	31,551	30,004	29,312	27,975	27,022	28,834
有効求人数	29,438	35,720	40,775	45,952	47,252	47,190	51,044	53,176	55,559	53,908	42,258
有効求人倍率	0.73	0.94	1.09	1.31	1.43	1.50	1.70	1.81	1.99	1.99	1.47

2年7月	2年8月	2年9月	2年10月	2年11月	2年12月	3年1月	3年2月	3年3月	3年4月	3年5月	3年6月	3年7月
28,585	28,804	29,817	30,406	29,458	28,125	28,197	28,936	30,423	32,203	31,489	30,856	29,968
39,541	40,012	40,537	43,334	43,769	43,116	43,470	43,856	43,447	42,410	40,807	40,639	40,558
1.48	1.43	1.39	1.41	1.40	1.39	1.41	1.42	1.37	1.42	1.41	1.45	1.45

*月別の有効求職者数、有効求人数は原数値、有効求人倍率は季節調整値を計上。

・令和2年12月以前の数値は、新季節指数により改定されている。

・季節調整は「センサス局法Ⅱ(X-12-ARIMA)」を使用している。

*年度別の有効求人倍率は実数値を計上。